投稿規程

1．本誌の目的

1）理学療法またはそれに関わる分野の研究報告の発行
2）理学療法士の卒後継続教育または学生教育等の論文の掲載
3）理学療法及び関連分野における最近の傾向や成果の紹介
4）秋田県理学療法士会の発展に関わる記録の掲載
5）学術局主催で行われた研修会・講習会等のまとめ

2．投稿内容

本誌への投稿原稿は上記に示す刊行目的に合致したもので、他誌に掲載されていないもの、もしくは掲載する予定がないものに限る。臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は医学生物学研究に関する国際指針の勧告の趣旨に沿ったものとする。対象者の保護には十分に留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。所属機関・施設等の倫理委員会の承認を得たものであれば、その旨を「対象と方法」の項に記載すること。

3．投稿資格

本誌への投稿は秋田県理学療法士会の会員ならびにグループとするが、特に本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。

4．投稿承諾について

投稿に際しては、共著者全員がその内容に責任を持つことを前提とすること。

5．記事の種類

投稿論文は研究論文、症例報告、短報などとし、それぞれ基準は下記のとおりとする。

研究と報告：理学療法分野に有用かつ意義があると認められたもの。自分目身の研究結果をまとめて、ある結論を与えたもの。通常の調査報告もここに入る。

短報：「研究と報告」の小型のもので、結論の速報・略報として書く。臨床報告、新しい情報、各分野からの助言などもここに入る。

症例報告：特異な問題をもつ症例の臨床経験や臨床問題についての報告と考察を行ったもの。症例の経過、結果および考察を中心にまとめる。少しまとまった症例数を扱う場合も、症例報告（case series）とする。

クリニカルヒント：臨床場面での理学療法技術を中心としたコツやポイントについてまとめる。

意見と声（Letter to Editor, Correspondence）：単なる投書ではなく、本雑誌に掲載された論文に対する賛成・反対の意見を、あまり論文の形式にとらわれずに手紙の形で掲載する。

調査と報告：調査活動班や本会主体の調査のみを本種類の記事として掲載する。

その他：特別寄稿、特集、講座、文献抄録、本の紹介、本会会員が取り組む事業の報告など。

6．投稿原稿について

本規程および執筆規程に従うものとする。

7．著作権について

1）掲載論文の著作権および版権は、デジタル加工したものも含めて、秋田県理学療法士会に帰属する。
2）執筆に際して、既発表の図（写真を含む）、表、その他を引用転載される場合は必ず出典を明示し、著作権法に基づき、著作権者の同意を得ること。万一、執筆内容が 第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、執筆者がその責を負うものとする。

8．論文の採否

論文の採否は複数の査読者の意見を参考に、機関誌編集班会議において決定する。査読の結果、編集方針に従って論文の修正を求めることがある。また必要に応じて、機関誌編集班の責任において字句の訂正を行うことがある。

9．利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は本文中に記載すること。なお、利益相反に関しては日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

Presented by Medical*Online

10. 採否の連絡

採否については速やかに連絡する。

11. 校正について

著者校正は原則として1回とし、校正は赤で行うこととする。この際、文章の書き換え、図表の修正は原則として認めない。掲載後原稿は原則として返却しない。(図・写真など返却を要するものはその旨明記すること)

12. 投稿原稿の送付・返却について

投稿原稿の送付・返却は機関誌編集班の担当者とEメールを用いて行う。

Presented by Medical*Online

執筆規程

1．論文は表題、要旨、本文、文献、図、表および図表説明文よりなるものとする。

2．論文の構成要素

1）標題（表題）：
内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。用語は本文に用いた言語としキーワードを含むように配慮する。原則として略語、略称は用いない。

2）著者名：
筆頭著者を先頭にし、著者が2名以上の場合には当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。

3）要旨：
はじめに、目的、方法、結果、結論に分けて文中に挿入する。400字以内とする。

4）キーワード：
名詞形で5個以内とする。

5）本文：
はじめに：研究、開発、調査などの経緯、背景、意義などを述べた導入部分である。研究などの目的、取り扱っている主題の範囲、これまでの研究との関連性の明示などを記述する。
対象と方法：対象、用いた原理、理論、条件、材料、手段、方法、手順などを記載する。用法・テクニックなどは第三者が読んで追試できるように記述する。対象者の保護には十分に留意する。
結果：実験的・理論的な結果、データ、認定された関係、観察結果、得られた効果・性能などを記述する。
考察：結果の分析・検討、結果の比較・評価、問題提起、今後の課題、仮説、応用、示唆、勧告、推論、予測などを記述する。

3．投稿原稿の書式は、本会ホームページを参照すること。
原稿には表紙をつけ、次のように記載するほか、表紙の下方に表や図の数を明示する。
和文標題、英文標題、著者名、英文著者名（例：Taro Akita）、所属、英文所属と住所、電話番号、E-mailアドレス（住所、電話番号、E-mailアドレスは筆頭著者のみでよい）。
なお、著者名と英文著者名にはそれぞれ肩書（例：MD, PT, OT, PhD, MS）を入れること。
見出しは以下のように統一する。行番号は削除しないこと。
［例］
結果
1．○○○
1）△△△
① □□□

4．執筆原稿枚数
原稿枚数は以下の通りとする。

1）研究と報告
①本文は8,000文字以内とする。図表、写真は合計8枚以内とし、それらを超える場合は、1枚につき400文字を減らすこと。
②引用文献も規定枚数の中に含めて書くこと。

2）短報
3,200文字以上、4,800文字以内とする（写真・図・表を含む。引用文献は2～3編つけること）。

3）症例報告
3,200文字以上、4,800文字以内とする（写真・図・表を含む。症例数が少ない場合は枚数を減らすこと）。

4）クリニカルヒント
本文および図・表・写真・文献を含めて2,000文字以内とする。

5）講座
2,400～3,600文字程度とする（写真・図・表を含む）。

6）意見と声（Letter to Editor, Correspondence）
800字程度とする。

7）その他
文献抄録：本文は800字程度とする。
本の紹介：本文は800字程度とする。

5．文献は引用文献のみとし、引用箇所右肩に片括弧をつけて、引用順に番号を付し、末尾には次の記載例に従って番号順にまとめる。

Presented by Medical*Online

引用文献の著者氏名が4名以上の場合は最初の3名を書き、残りは・他、またはet al.とすること。

文献に記載する:；，．（ ）などの記号と挿入するスペースは全て半角とすること。

1）単行本の場合

①単独あるいは共同執筆の場合

著者名: 書名. 引用頁数, 出版社名, 発行地, 発行年.

②分担執筆の場合

著者名: 論文題名. 編者名（編）: 書名. 引用頁数, 出版社名, 発行地, 発行年.

［例］

1）藪中良彦: GMFCS 脳性麻痺児の粗大運動を評価しよう. 楠本泰士(編): 小児リハ評価ガイド 統合と解釈を理解するための道しるべ. pp.38-39, メジカルビュー社, 東京, 2019.

2）Lahiri S, Mayer SA: Heart-brain interactions. In Louis FD, Mayer SA, Rowland LP (eds): Merritt's Neurology. 13th ed, pp.990-995, Wolters Kluwer, Philadelphia etc, 2016.

2）雑誌の場合

著者名: 論文題名. 雑誌名 巻(号): 最初の頁-最後の頁, 発行年.

［例］

1）高見奈津子, 大森圭貢, 石井照子・他: 通所リハビリテーションを利用する後期高齢者の転倒歴と身体機能および認知機能. 総合リハ 47(12): 1231-1235, 2019.

2）Nadruz W, Jr., Kitzman D, Windham BG, et al.: Cardiovascular dysfunction and frailty among older adults in the community: The ARIC study. J Gerontol A Biol Sci Med Sci 72(7): 958-964, 2017.

3）インターネットの場合

［例］

1）厚生労働省ホームページ 個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブを提供する取組に係るガイドラインについて. https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000124579.html（参照 2020-2-14）

2）World Health Organization: Global recommendations on physical activity for health. http://www.who.int/dietphysicalactivity/factsheet_recommendations/en/（参照 2020-2-14）

6．数字は特別な場合を除き算用数字を用い、外国語はタイプすることとする。また度量衡などの単位は国際単位を用い、略語の後のピリオドはつけない。漢字は特別な場合を除き、常用漢字を用いること。

7．図表の書式も、本会ホームページを参照すること。図・表は出てくる順に、それぞれ一連の番号をつける。図はグレースケールとする。グラフィック表現、イラストレーション、および写真は図に含める。表には必要がない限り表に縦線は使用しない。表に用いる線の太さは1 pt以下とする。図の番号およびキャプションは図の下に、表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に転載許可をとること。

8．原稿には一連のページ数をつけること。

Presented by Medical*Online